

第66巻 第2号 執筆者紹介

- 大瀧 雅之 1957年生, 東京大学社会科学研究所教授
主著 『景気循環の理論: 現代日本経済の構造』(1994年 東京大学出版会), 『動学的一般均衡のマクロ経済学: 有効需要と貨幣の理論』(2005年 東京大学出版会), 『貨幣・雇用理論の基礎』(勁草書房 2011年), 『平成不況の本質: 雇用と金融から考える』(岩波書店 2011年), 『国際金融・経済成長理論の基礎』(2013年 勁草書房), 『Keynesian Economics and Price Theory: Re-orientation of a Theory of Monetary Economy』(2015, Springer)
- 花崎 正晴 1957年生, 日本政策投資銀行設備投資研究所長等を経て, 現在 一橋大学大学院商学研究科教授, 早稲田大学博士(経済学)
専門分野 コーポレート・ガバナンス, 企業金融, 金融システム
主著 『コーポレート・ガバナンス』(岩波書店 2014年), 『日本経済 変革期の金融と企業行動』(共編著)(東京大学出版会 2014年), 『金融システムと金融規制の経済分析』(共編著)(勁草書房 2013年)
- 西島 益幸 1954年生, 横浜市立大学教授
主著 『労働経済学』(共著, 有斐閣, 1989年), 『企業の経済学』(新世社, 1998年), “Quality and Welfare in Mixed Duopoly: Effects of Capacity Reduction,” *Japanese Economic Review*, vol.60, No.1, March 2009, pp.97-109.
- 加藤 晋 1981年生, 東京大学社会科学研究所准教授
主著 Quasi-decisiveness, Quasi-ultrafilter, and Social Quasi-orderings, *Social Choice and Welfare* (2013), 41 (1), 169-202. Social Choice, the Strong Pareto Principle, and Conditional Decisiveness, *Theory and Decision*, 75 (4), 563-579. Independence of Irrelevant Alternatives Revisited, *Theory and Decision* (2014), 76 (4), 511-527.
- 釜賀 浩平 1980年生, 上智大学経済学部・助教
主著 “On the leximin and utilitarian overtaking criteria with extended anonymity” (co-authored with Takashi Kojima), *Social Choice and Welfare*, Vol. 35, (2010), “Extended anonymity and Paretian relations on infinite utility streams” (co-authored with Tsuyoshi Adachi and Susumu Cato), *Mathematical Social Sciences*, Vol. 72, (2014)
- 随 清遠 1962年生, 横浜市立大学国際総合科学部教授
主著 『銀行中心型金融システム』(東洋経済新報社, 2008年), 『金融組織と金融政策の経済学』(共編著, 勁草書房, 2013年)

- 渡部 晶 1963年福島県いわき市生。1987年3月京都大学法学部卒。同年4月大蔵省入省，現在，財務省大臣官房地方課長。
- 主著 『図説日本の税制』（平成2年度版～平成4年度版）（財経詳報社 1990～1992年）（一部執筆），「わが国の通貨制度（幣制）の運用状況について」『ファイナンス』561号（財務省，2012年8月），「独立行政法人改革について」『ファイナンス』586号（財務省，2014年9月），「書評：Keynes and his Battles（Gills Dostaler 著）」『社会科学研究第64巻第3号』（東京大学社会科学研究所 2013年3月）など
- 安藤 浩一 1968年生，中央大学法学部教授
- 田村 正興 1982年生，一橋大学イノベーション研究センター特任助手，2014年 東京大学経済学研究科博士課程修了（博士（経済学））
- 主書 Anonymous Giving as a Vice : an Application of Image Motivation, Theoretical Economics Letters, Volume 2, 2012. Monetary Growth Theory under Perfect and Monopolistic Competitions (joint with Masayuki Otaki), Theoretical Economics Letters, Volume 3, 2013.
- 薄井 充裕 1953年生，(株)日本政策投資銀行 設備投資研究所長
- 主編著 『都市開発と証券化』（日本経済新聞社，1990年），『変わる日本の国土構造 新しい国づくりへの視点』（ぎょうせい，1996年），『PFIと事業化手法』（金融財政事情研究会，1998年），『都市のルネッサンスを求めて』（宇沢弘文，前田正尚と共編，東京大学出版会，2003年），『スポーツで地域をつくる』（堀繁，木田悟と共編，東京大学出版会，2007年）
- 田中 淳平 1974年生，北九州市立大学経済学部准教授
- 主著 『ケインズ経済学の基礎：現代マクロ経済学の視点から』（九州大学出版会，2010年）“A Note on Government Spending on Infrastructure in an Endogenous Growth Model with Finite Horizon”, Journal of Economics and Business, Vol 54, Issue 6, (2002) “Welfare Analysis of a Fiscal Reconstruction Policy in an Overlapping Generations Economy with Public Investment”, Journal of Economics, Vol.79, No.1, (2003)